

「家具の配置にも工夫が大切なのね」

就寝位置や出入口と家具との関係は重要

たとえば家具の配置と、ふとんを敷いたりベッドを置く、いわゆる就寝の位置との関係です。壁を背にした家具は前方に倒れてきますから、就寝位置は、家具の高さ分だけ離れるか、家具の脇に決めた方が安全です。また、家具が倒れて出入口を塞がれてしまつては大変です。家具は出入口付近に置かない、あるいは万が一倒れても通り抜けられる空間を残せる位置に置くようにしましょう。

さて、家具の転倒を防ぐための固定は大切ですが、住宅の立地や構造など、さまざまな条件によって揺れ方が違うので、必ずしも万全とはいえません。そこで、安全という面から家具の置き場所を見直すことも、転倒などによる被害を防ぐための大きなポイントとなります。

ピアノにはキャスターが付いているため、確実な移動防止が行われている場合以外は、就寝の部屋には置かない方がよい

ピアノ
移動
転倒
キャスター
移動

飛び出し・落下
テレビ
就寝部分

台の上に乗せたテレビやパソコンなどは飛び出す可能性があるの、就寝位置、特に枕の位置には注意

家具との関係で安全な就寝の位置は、家具の側方である。もしも家具の前方に就寝する場合は、家具の高さ以上に十分な距離をとる。また、スライド書架付きの本棚は安定が悪いので、就寝の位置からなるべく離れた方がよい。

就寝部分
転倒
就寝位置は家具の側方がよい

スライド書架
転倒
飛散範囲が広い
就寝位置はなるべく離れていないと危険

就寝部分
転倒
就寝位置が正面の場合は家具の高さ以上に十分な距離をとる

出入口
ドアが開かない
家具
転倒
避難できない

出入口近くに家具を置くと、家具の移動や転倒、あるいは収納物の散乱などによって、避難路が遮られることがあるので、なるべく家具を置かない方がよい

ガラスなど

ガラスの破片が散乱した場合でも通路を確保できるよう、台所などには座布団やスリッパなどを常備しておく

「家具転倒防止等の手引き」より